

報道関係各位

2007 年 5 月 10 日

地球に優しいアルミ、構造材認可から5周年 個人宅の離れから空中店舗まで、多様なニーズに応える“アルミ建築”

リユース、リデュース、リサイクルの「3R」に優れた地球環境時代の新素材・アルミが、2002 年 5 月 14 日に建築基準法で建築構造材として認可されてから 5 年になります。アルミ製住宅および構造材メーカーであるSUS株式会社(静岡県静岡市、代表取締役社長：石田保夫、www.sus.co.jp)は、外装・内装・構造体を兼ねるアルミフレームをつなぎ合わせるだけで、明るく開放的かつデザイン性の高い建築物をつくることができる空間構築システムをいち早く開発し、個人宅の離れから“空中店舗”まで、様々なニーズをかたちにしてきました。



■駐車場の“空中利用”ビジネスを実現

都心の一等地に店舗を持ちたい。そんなベンチャー企業の願いがまたひとつ、アルミ建築でかたちになりました。インテリア・家具をインターネット販売する MOOR JAPAN(東京都港区、代表取締役社長：一原 康 宏、www.charisma-bv.co.jp)のリアル店舗「MOOR LUSSO」(ム-ア ルッソ)が、青空駐車場上部に設けたアルミ建築物を通常の半分程度の保証金で貸し出すビジネスの最新物件としてオープンしました。インテリアショップの激戦区に名乗りを上げた同店は、オリジナルを中心にモダンで高級感あるアイテムを揃えています。

この“駐車場の空中利用ビジネス”の設計・部材供給を手がける弊社では、3 店舗目の本物件において、ガラス張りで“宙に浮く”イメージはそのままに、初の二層式に挑戦しました。アルミ製店舗としては最大である、延べ床面積約 370 m²の柱のない大空間です。店舗の印象について MOOR JAPAN 取締役副社長の安田知世氏は、“3 月 24 日のオープン以来、インパクトのある美しい建物が話題を集め、たくさんのお客様に足を運んでいただいています。アルミフレームのシンプルな美しさが当店の家具を引き立て、相乗効果を発揮しています。”と語っています。

軽量のアルミ製空間構築システムだからこそ実現できた、ショーケースのような“空中店舗”。加えて、柱が不要な同システムは、今回のような大型店舗はもちろんのこと、1 号店(八重洲)・2 号店(赤坂)のように狭い土地や不整形な土地向けの小型店舗にも対応できる汎用性の高さを備えています。



左上)MOOR LUSSO 外観。夜は一際“宙に浮く”空間に。
右上)同店内部。
下)2号店として昨年11月赤坂にオープンした「黒豚劇場」
携帯電話で写真を撮る人もいるというインパクトある外観



上左)2005 年度アルミ製海の家(神奈川県葉山町) 上中)tsubomiをアドリエとして使用しているN邸(東京都武蔵野市) 上右)tsubomiによる“離れ”のある美容室「ARRTY@ARRTY」(福岡県筑紫郡) 下左)JR 蕨駅東口「NEWDAYS」(埼玉県蕨市) 下中・右)住宅地で目を引くオールアルミのM邸(静岡県静岡市)

■従来イメージからの“スピードチェンジ”を実現

アルミ建築を、店舗や施設などのイメージチェンジに用いる動きも出てきています。2004 年から毎年手がけている“アルミ製海の家”は、デザイン性の高さと、塩害・腐食に強く傷まない、炎天下でも表面が高温にならないという機能性が評価され、多数のお問い合わせをいただきました。本年度は、塩害への強さを買われ、浜離宮に臨む定期観光船の棧橋と券売所をアルミで設置することになりました。完成は6月末予定です。

駅売店「キヨスク」を、売り上げ好調なコンビニ型店舗へ一部シフトしている東日本キヨスク㈱様からは、移設が容易でリユースもできる弊社システムを、シフトモデルとして活用できるか試してみたいとの依頼を受けました。わずか 5 時間で構築した「NEWDAYS」蕨駅東口店の反響について設備部ご担当者様は、「利用客の皆さんにきれいな店だと好評をいただいています。ガラスをふんだんに使い、商品や店内がよく見える点が来客誘致に繋がっているようで、売上も順調です」と語っています。

■“自分だけの空間”を実現

自宅に“自分空間”を手軽に作りたいという一般の方々には、空間構築システムを標準化した「tsubomi」(3m四方、199.5 万円～、組立費込)をご用意しています。1m単位で大きさを変えたり、床材・壁材・天井・屋根材を自由に選んだりとカスタマイズも楽しめます。最近では、イベントブースや仮設型店舗など、商空間への導入に積極的な企業が多く、用途のすそ野が広がっています。

■“未来型エコロジー住宅”の誕生

2005 年には、室内環境を快適に保つことができる住宅コントロールシステムを導入した、日本初の未来型オールアルミ住宅を完成させました。静岡市にある同物件・M邸は、天井や床材と一体化した熱交換器システムによる輻射熱冷暖房や制振ダンパー構造を取り入れ、気温や湿度などの環境変化をコンピュータで自動解析し、設備機器を自立的に管理・制御できる、省エネでありながら快適な環境を維持できる住宅です。

弊社ではこれからも、“アルミ製空間構築システムによる問題解決”をテーマに、様々なニーズにきめ細かく対応し、お客様に満足いただけるオリジナリティ溢れる空間づくりに努めていきます。また、日本初のアルミ建築の集大成本である「アルミニウムの空間」(新建築社より発売中、3,360 円)の監修や、アルミの可能性を広げるデザインを募る「Advanced Aluminum Award」開催のような文化活動にも、引き続き取り組んでいく予定です。これにより、アルミ建築の普及に寄与していきたい考えです。

本件に関するお問い合わせ窓口
SUS本社広報担当：小倉／電話 054-361-0061／e-mail：k-ogura@sus.co.jp